

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことば音楽療法教室みそら(放課後デイサービス)		
○保護者評価実施期間	7年 11月 5日		7年 11月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	70人	(回答者数) 68人
○従業者評価実施期間	7年 10月 14日		7年 10月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16人	(回答者数) 16人
○事業者向け自己評価表作成日	8年 1月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別で支援をしているので個々にあわせてプログラムを組み、支援を行うことができる。	個別療育を通して、机上での活動に偏らず、利用者の発達段階や興味に合わせたプログラムに努めている。 言葉だけではなく音楽活動や身体を使った運動面へアプローチすることで総合的な支援を行っている。また、コミュニケーションを取り合うことを優先に支援している。	利用者の支援に必要なスキルを支援員が獲得できるように研修をおこなったり、教材開発などの環境整備にも力を入れている。
2	支援員が担当制ではないので固定化されたレッスンにならないようにしている。	支援員が固定化されないため、子どもの発達状況や特性に応じて複数の支援員が関わる体制をとっている。それぞれの支援員が専門性を生かして支援方法を工夫することで偏りのない多面的な支援を行っている。	利用者との関係性や支援内容が継続に保たれるよう、支援員間で情報共有の時間を設けている。
3	保護者と一緒に来所することで保護者の方からお話を聞くことができる。また、支援内容の説明を行うことができる。	子どもの発達状況や支援の成果については、レッスン終了時に保護者へフィードバックを行っている。 また、家庭や学校での様子や生活環境の変化など聞き取り、共有することができる。 保護者からの相談(進路など)を随時受け付け、助言が必要な時は応じられるようにしている。	進路などはその年ごとに変わることが多いので最新の情報を得るようにしている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	40分の個別療育の為、長時間のお預かり療育ができない。	短時間の個別療育に特化しており、集中した支援を行える反面、長時間のお預かりや生活支援は難しい。 祝日や長期休みでは小集団(5~8人)のイベントを行い、友達との関わり方を学べるなど交流の場を広げていくことに努めている。	引き続き小集団の療育を行い、興味の持てるイベントを企画し、楽しみながら参加できるようにする。 保護者も参加しやすい環境作りにも努め、家庭と事業所・利用者同士のつながりを深める。
2	送迎を行っていない。	保護者の送迎の負担が大きい面があるため、遠方や平日に利用がむずかしい方(就労など)にも利用して頂けるよう、土日祝も開所している。	保護者支援を行うことができる。また、何を聞かれても答えられるように支援員自身が知識をもつように努めている。
3	個別対応にばらつきが生じることがある。	個別療育の為、支援員の得意分野や進め方によってレッスン内容に多少の格差が生じる場合がある為、情報共有の時間や、指導内容の細かいところまで確認する時間を設けている。	支援員間で方向性は必ず合うように個別支援計画を再確認する機会を設けている。 迷ったときに聞きやすい環境づくりをし、安定した支援を行うよう努めている。